

事務事業評価票

所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登
所管課・係名	水産林務課 水産係
課長名	濱本 親

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	二見漁港整備事業	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	漁村再生交付金事業
会計区分	一般会計		
予算の事業名	二見漁港整備事業		
事業コード(大-中-小)	22	01	05
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第4章 豊かさにとぎわいのあるまち	
	施策の大綱(節)【政策】	①豊かな農林水産業のまちづくり	
	施策の展開(項)【施策】	③豊かで安定した水産業の振興	
	具体的な施策と内容	(1)生産基盤・環境の整備	
根拠法令、要綱等			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 ● 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度 平成25年度

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	施設利用者(漁業者)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	防波堤や物揚場の改良及び泊地の浚渫等を行い、利便性が向上することにより安定した漁撈活動による漁獲の増加や鮮度の高い出荷が可能となり、良質な水産物を安定的に供給させ、市民生活の安定向上及び経済の健全な発展を図る。
	内容 (手段、手法等)	二見漁港施設整備及び周辺漁場整備			
事業開始時点からこれまでの状況変化等	平成4年度から順次漁港施設を整備してきたが、平成25年度で完成する見込みである。				

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	55,469	33,488	29,900	26,900	0	0	
	事業費(直接経費)	千円	48,469	28,588	25,000	22,000	0	0	
	財源内訳	国・県支出金	千円	18,940	4,550				
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円	11,000	3,600				
		その他()	千円						
	概算人件費(正規職員)	千円	7,000	4,900	4,900	4,900	0	0	
正規職員	従事者数	人	1.00	0.70	0.70	0.70			
	臨時職員等従事者数	人							
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 進捗率	当該施設整備に掛かる全体事業費ベースでの累積事業費を進捗率とする。	%	90.3	94.0	97.2	100.0		
	②								
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 管理者である八代市が、物揚場の改良及び泊地の浚渫等を行うこと により、漁業者は安定した漁撈活動による漁獲の増加や鮮度の高い 出荷が可能となり、良質な水産物を安定的に供給させ、市民生活の 安定向上及び経済の健全な発展を図る。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) 平成25年度完成
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 複数の補助メニューを活用することにより、一般財源の抑制に努め てきた。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 平成25年度完成。																					
改革改善内容	<p align="center">今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果</p> 平成25年度は、泊地の浚渫を予定しているが、排出される土砂を有効活用するため、ア サリ漁場に覆砂し、漁場整備する予定である。	<p align="center">改革改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------